

平成20年度 第1回 荒川地区地域審議会 議事録

1. 開催日時 平成20年7月28日
2. 開催場所 荒川支所 第1・2会議室
3. 出席委員 山本克男、山田俊治郎、田島勉、片岡弘、石山忠一、近藤久、山口正志、会田健次、三田敏男、小関シヅ子
4. 欠席委員 小川巖、鈴木薫
5. 出席職員 大滝平正市長、平野荒川支所長
(事務局) 荒川支所地域振興課；後藤課長、小川係長、須貝主任
政策推進課；佐藤課長補佐、太田係長
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

平成20年度 第1回 荒川地区地域審議会 会議次第

日 時 平成20年7月28日

午後6:30～

場 所 荒川支所 第1・2会議室

1. 開 会
2. 市長あいさつ（口頭諮問）
3. 委嘱状交付
4. 議 事
 - （1）正副会長の選任
 - （2）地域審議会所掌事項について
 - （3）委員名簿の公表と今後の進め方について
 - （4）総合計画審議会委員及び都市計画審議会委員の選任について
 - （5）地区のまちづくりの基本的方向について
 - （6）その他
5. その他
6. 閉 会

会 議 経 過

1. 開会

事務局；本日は、お忙しい中この地域審議会にお集まりいただきましてありがとうございます。会議に先立ちましてお手元の資料の確認をさせていただきます。（配布資料確認）

2. 市長あいさつ（口頭諮問）

事務局；それでは、市長から開会の挨拶を申し上げます。

市 長；今日は大変ご多忙にも係らず、地域審議会の委員をお引き受けいただき、お礼と感謝を申し上げます。

本地域審議会は、合併により広大となった新村上市の均衡ある発展と公平なサービスを担保するための重要な会であり、市長の諮問に対して答申をいただく事項のほかに、地域の施策等について市長や議会に対して意見を述べることができる権限を有しております。

全市のまちづくりの方向性を見極めながら、地区の発展のため、ご指導ご鞭撻をいただければありがたいと思っております。

また、今年度の本地域審議会への諮問といたしましては、市総合計画策定に向けた「本地区のまちづくりの基本的方向について」であります。何卒、慎重にご審議いただき、答申賜りますよう重ねてお願いいたします。

3. 委嘱状交付

事務局；それでは、次第の 3 番目、委嘱状の交付ということで、市長から各々委員の皆様
に委嘱状を交付していただきます。

（各委員に市長より委嘱状交付）

事務局；本日の次第の裏面に審議会の名簿を添付しておりますのでご覧いただきたいと思
います。なお、荒川沿岸土地改良区の小川理事長様と県立坂町病院の鈴木院長様
が欠席となっております。

市長はこの後公務のため、中座いたします。お許し願いたいと思います。

4. 議事

（1）正副会長の選任

事務局；それでは次第の 4 番、正副会長の選任に入りたいと思いますが、どのような決め
方がよいか、お諮りいたします。

委 員；今日はおじめてお会いする方もいらっしゃるし、このまま審議してもなかなか決ま
らないと思うので、事務局のほうで案はありませんか？

事務局；事務局といたしましては、会長に前の荒川町副町長 会田健次様、副会長にはあらかわ婦人会の小関シヅ子様をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

事務局；異議なしということですので、改めて拍手で承認いただきたいと思います。

(拍 手)

事務局；ありがとうございました。本地域審議会の会長には会田健次様、副会長には小関シヅ子様をお願いすることに決定いたしました。それでは会長、副会長には席の移動をお願いします。なお、この後の議事については、会長が議長となります。

(正副会長席を移動。会長挨拶)

(2) 地域審議会所掌事項について

議 長；議事の(2)、地域審議会の所掌事項について議題とします。事務局のほうから説明願います。

事務局；資料により説明

議 長；これについて、ご意見、ご質問等ありませんか？

委 員；地域発展のための審議会と言われても何から審議していったらいいのか、皆目検討がつかないのですが？

議 長；その都度諮問される内容について審議していただくこととなりますが、今回の諮問についてはどんな内容ですか？

事務局；議事の5番目にありますが、地区のまちづくりの基本的方向について検討していただくこととなります。

議 長；何かご意見等ありませんか？

(な し)

(3) 委員名簿の公表と今後の進め方について

議 長；次に(3)の委員名簿の公表と今後の進め方について議題とします。事務局から説明願います。

事務局；説明

議 長；委員名簿の公表については了承ということで問題ないですか？

(異議なし)

議 長；今後の進め方の中に、今年度は2回の会議を予定とありましたが、諮問・答申をするのに2回で十分かどうか、説明願います。

事務局；現在、本庁では総合計画の策定準備を進めておりますが、それを進める中で合併基本計画に搭載されたまちづくりの基本的方向を変更するなどの必要がないかどうか、これを皆様にご協議いただくという諮問内容ですので、今日いろいろなご

意見を頂いたものを次回の答申案に反映させて、審議・決定していただくということで想定しております。今回の諮問については2回の会議で答申が出せるのではないかと考えております。

議長；今後の進め方についてご質問等ありませんか？

(なし)

(4) 総合計画審議会委員及び都市計画審議会委員の選任について

議長；無いようであれば、次の議事に移ります。議題の(4)、総合計画審議会委員及び都市計画審議会委員の選任について議題とします。事務局から説明願います。

事務局；趣旨説明(市長より地域審議会会長宛てに推薦依頼があった旨)

議長；事務局のほうで案はありますか？

事務局；総合計画審議会委員には商工会の山田俊治郎様、都市計画審議会委員には荒川地域区長会の山本克男様をお願いしたいと考えております。

議長；いまほど事務局から腹案がございましたが、皆さんいかがでしょうか？

(異議なし)

議長；異議なしということで、総合計画審議会委員は山田委員、都市計画審議会委員は山本委員をお願いすることに決まりました。

ちなみに総合計画審議会は何人で、どういう構成になりますか？

事務局；25名で、住民代表、各種産業団体、福祉等の各分野からの構成を検討しておりますが、今日お願いしたのは、住民代表として地域審議会から選出していただきました。都市計画審議会もほぼ同様の考え方です。

(5) 地区のまちづくりの基本的方向について

議長；それでは議題(5)今日の本題である地区のまちづくりの基本的方向について議題とします。事務局から説明願います。

事務局；資料により説明(合併市町村基本計画P32)

議長；今ほど説明のありました基本計画の中で、2番目の「風と緑が織り成す交流拠点ゾーン」とありますが、この文章表現の中に、これを加えたい、ここを直したほうがいいのではないかなど、皆さんからご意見があれば、答申して参りたいと思いますが、いかがでしょうか？

委員；交流拠点とは、外との交流という意味ですか？

事務局；南の玄関口とよく言われましたが、他との交流の窓口となる拠点という意味合いだと思います。

議長；私も基本計画策定には携わりましたが、荒川地区は南の玄関口として発展できる要素があるということで、こういう表現になったものです。

委員；「荒川米」という言葉を入れられるかどうか、いかがでしょうか？

委員；もはや「岩船米」で定着していますので、「荒川米」では中央で通らなくなっていると思います。

委員；昨年から荒川のサケ有効利用をインターネットなどで全国的にPRしており、かなりの反響もあります。また、清流日本一ということで名が通ってきていますし、名水百選にも入りました。三面川も大事ですが、荒川の漁業もPRするいい時期だと思います。同時に荒川の清流で作った農産物もPRできるのではないかと思います。

議長；清流荒川という資源を地域発展にフル活用してはどうかという事だと思いますが、そういう要素を文章に付け加えることは大いにけっこうだと思います。他にありませんか？

委員；基本計画の P27 にコミュニティ、地域文化芸能の伝承や保存を支援するとあります。荒川地区の学区は2つに分かれており、規模としてちょうど良いものだと思いますが、もし現在の学区が一つになるようなことがあると、コミュニティが壊れていくのではないか。その辺をこの文章の中に含めて、コミュニティを守っていくようにしてほしいと思います。合併すると文化のレベルは上がるのですが、地域色が薄れてしまうので、それを考慮する必要があるのではないのでしょうか。

委員；クロッカスと言っても今は何h aもない状態になっていて、それよりも日本一きれいな荒川というのは大きな要素になっていると思います。

委員；クロッカスを作っている人は大津にも何人かいますが、観光という意識はもっていないようです。名水という事であれば、まちづくりの要素として考えてもいいと思います。

議長；サケの有効利用は全国から3千人位来た、ヒットした事業ですし、クロッカスについての表現もこのままでよいのかということもあります。

委員；クロッカスに拘らず花卉とすれば、他の品種にも対応できる表現ですが。

事務局；総合計画の作り方としては、最重要プロジェクトとして何点か作りたいと考えています。例えば川をテーマとしたもの、山をテーマとしたもの、地域のあたたかさをテーマとしたものなど、いくつか考えたい。そういったプロジェクトの中で、荒川、三面川などを織り込んでいければと思います。

他の地域審議会では、せっかく合併したのだから旧市町村単位でなく、7号線沿いの農村地帯、海、山、といったゾーニングで考えてはどうかといった意見もありました。

委員；基本計画を作る際には、旧市町村単位で書かないとまとまらなかったのでしょう。今、合併したから全体を考えてなんて言いますが、合併前は自分の市町村のことを一番に考えたのが現実だと思います。

委員；合併後、徐々にではありますが荒川地区の商工業は低迷し始めていると感じます。地域がしっかり頑張らないといけない。我田引水ではなく、地域から積みあげて

全体を形づくっていく必要があるのではないのでしょうか。

委員；私は森林組合に勤務してまして、荒川がきれいだということには、森林を整備して水をきれいにしたという誇りを感じています。これが農業・漁業に繋がっているのだから、一番の売りになると思います。

委員；鮎つりのシーズンで県外客が大勢来ていますが、市内で荒川、三面川、大川、勝木川の4箇所で鮎つりが出来る。こういうところは他にないと思います。これはすごいことで、今後いろんな事業展開が期待できますので、今後のまちづくりの要素として盛り込んでいっていいのではないのでしょうか。

議長；他にご意見等ありませんか？

(なし)

議長；それではこの辺で閉じたいと思います。次回、今日の意見を反映させた形で答申案を作成して、またご審議いただきたいと思います。

(6) その他

議長；次に(6)のその他ですが、事務局で何かありますか？

事務局；次回の会議の日程ですが、正副会長と事務局で日程調整させていただいて、ご案内したいと思います。よろしいでしょうか？

(異議なし)

議長；皆さんから何かございますか？

(なし)

議長；無いようですので、これで今日の地域審議会を閉会します。ご苦労様でした。

閉会 午後7時45分